

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援あんふいに		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の成長や課題に合わせて支援を強化出来る	日々の関りや観察の中からより成長につながる支援をブラッシュアップしている	現段階での課題や未来に必要なスキルをより深く探求できるよう観察し支援していく
2	好きなことを好きなだけ取り組める環境	お子さまの「やりたい」気持ちを大切に環境設定を行っている	今の「好き」からより広く興味を広げていけるような環境提供を心掛ける
3	時間割を設けていない	集団活動や個別の工作、音楽療法などのプログラムもあるが、日々来所するお子さまの状態によって適宜プログラム変更など行っている	お子さまの「やりたい」が固定化されない様、様々な体験が出来る環境設定に努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さ	法定基準は満たしているが、様々な遊びが混合した際の区別が難しいことがある	時間で遊びを分けたり複数混合しない様務める
2	教材の量	必要なものは準備しているが、次から次へと魅力的な教材が登場し選択に悩む	物がありすぎる環境も落ち着かなくなるので適宜必要なものを必要量準備出来るようにする。また、日々新しい教材探求に努める
3	送迎のスケジュール	車の台数に限りがあるのですべてのご希望に添えかねる	事業所で出来る範囲でご希望にお応えできるよう努める